



*Schinus terebinthifolius*, Okumura, Chichijima (×ca. 1)

マメ科）などと共に相当な森林あるいは独立木を作っている。ハワイでは Christmas-berry tree, 島名は Wilelaiki, Nani-o-hilo で、ウルシ科の *Schinus terebinthifolius* Raddi であることが判った。ブラジル原産、家の庭などでは案外観賞用に喜ばれてい るらしい。これが、乾いた土地に拡がり始めると自然植生を破壊することはハワイにおけると同様で、これが高く繁茂すると枝葉がうとましく乱れ、決して美しくはない。12月頃の美しい果実の色香に迷わされて、ほっておくと、小笠原島の自然植生に対し 大きい被害を与えることになる。果実を鳥が運ぶから、今の中に駆除してしまい、悔を後世に残さぬようにしてほしい。

（お茶の水女子大学生物学教室）

□千原光雄： 海藻・海浜植物 標準原色図鑑全集 15. 256p. 63pl. 19×12 cm 1,200 円、1970、保育社。緑藻植物 53 種、褐藻植物 76 種、紅藻植物 213 種を主体とし、海産種子植物 5 種、海浜植物 30 種を従とした図鑑である。撮影にはより新らしい海藻標本を用い、生育状態の写真も加えられているので、色彩が自然であり、製版技術の進歩により、従来の図鑑にくらべて、仕上りが原色に近くなっている。属や種の解説は適切で、らん外には部分図、解剖図、分布図などを多く挿入し、理解を深めるよう配慮してある。一般、学生、専門外の植物研究者にも参考書として恰好なものと思う。

（佐竹義輔）